

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		土地改良事業		課名	土木課	事業No.	182
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			飯田市農業振興地域整備計画			
法令・例規等			市営土地改良事業等の経費の賦課徴収に関する条例				
			飯田市農地保全型簡易基盤整備事業補助金交付要綱				
事業目的		対象	農業従事者、農村居住者				
		意図	農作業の効率化と農地を保全する、農業施設の改修及び補修				

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)					
	地域から多く要望が寄せられている、老朽化が進んだ農道・用排水施設を順次補修や更新整備を進めました。年度当初に非補助土地改良事業が民法改正により、実施不可能となり、国土保全特別対策事業に切り替えることにより、継続して必要最低限の整備を進めることが可能となりました。		非補助土地改良事業				0					
			市単土地改良事業				96,321					
			土地改良施設維持管理適正化事業				10,849					
			国土保全特別対策事業				7,897					
			農地保全型簡易基盤整備事業				316					
			農業水利施設保全管理整備事業				17,457					
その他の経費				0								
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	用排水路整備		箇所	25	21	26	14	26	19	22	10	
	農道整備		箇所	5	2	1	3	1	5	1	2	
	施設補修・清掃		箇所	170	149	170	208	170	169	170	166	
	施設補修用資材支給		箇所	100	101	100	70	100	92	90	84	
	農地の基盤整備補助		箇所	9	11	10	10	10	10	10	2	
2年度 決算 (千円)	予算額		225,371	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		132,840	(県) 農業水利施設保全管理整備事業 (国55%、県14%) 865千円								
	財源の 状況	国庫支出金		0	(県) 農業水路等長寿命化・防災減災事業 (国100%) 16,200千円							
		県支出金		17,065	(地) 国土保全対策 (充当率90%) 7,000千円、(地) 一般補助施設 (充当率90%)							
		地方債		7,200	200千円、(そ) 土地改良施設維持管理適正化事業交付金							
		その他		8,857	8,640千円、(そ) 市単土地改良事業分担金 28千円、(そ) 繰越金 189千円							
一般財源		99,718	1→2 繰越明許費 1,254千円 2→3 繰越明許費 16,561千円									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	6	1	7	17	1	0	0	非補助土地改良事業費	
2	1	6	1	7	18	1	109,273	96,321	市単土地改良事業費	
3	1	6	1	7	21	1	10,850	10,849	土地改良施設維持管理適正化事業費	
4	1	6	1	7	26	1	38,024	7,897	国土保全特別対策事業費	
5	1	6	1	7	31	1	1,400	316	農地保全型簡易基盤整備事業費	
6	1	6	1	7	41	1	65,824	17,457	農業水利施設保全管理整備事業費	
7										
振り返り課題認識		高度成長期に整備した農業用施設の老朽化が進み、農作業に支障をきたすとともに、農住混在化が進んだことにより防災面での住民要望も多くなっています。施設の改修及び補修により社会基盤の強化と持続的な営農活動につなげ、国土保全のための役割を果たしていきます。								
上記の課題解決のための有効策		事業の継続的な実施により補修及び改修を推進します。								
次年度に向けての取り組み		従来活用していた非補助土地改良事業が実施不可能となったため、国土保全特別対策事業に切り替え、継続して道水路の改修及び補修を進めていきます。								